資料6

年末年始生活総合相談に関する広報の取組状況

1．　会議・会見

（1）長妻大臣会見（12 月 22 日：年末年始生活総合相談について公表、長妻大臣、山井政務官、湯浅参与）　以降定例会見等で発言

（2）貧困・困窮者支援プロジェクトチーム（12 月 24 日：総理出席）
※YouTube 出演を発信

2．　視察

（1）国立オリンピック記念青少年総合センター
（12 月 28 日：菅副総理、長妻大臣、福島大臣、山井政務官）
（1 月 1 日：鳩山総理、原口大臣、細川副大臣　＋　12 月 28 日メンバー）

（備考）長妻大臣は 12 月 30 日にハローワーク新宿歌舞伎町庁舎、東京都健康プラザハイジアを、山井政務官は 1 月 3 日に国立オリンピック青少年総合センターを非公式に視察

（2）ネットカフェ（サイバーカフェ北千住）
（12 月 27 日：湯浅参与）

3．　テレビ出演・マスコミへの働きかけ（キャラバン）

（1）湯浅参与のテレビ出演多数

（2）湯浅参与への取材機会を各社にオファー（記者クラブ、スポーツ紙、夕刊紙）

（3）報道機関に広報、取材報道を要請
（ハローワークにおける年末緊急職業相談（12 月 22 日）、東京都における年末年始の生活総合相談（12 月 22、25 日）、年末年始の生活総合相談（12 月 24 日））

4．　ネットの活用

（1）厚生労働省動画チャンネル（ユーチューブ）
鳩山総理（12 月 26 日）、長妻大臣（27 日）、山井政務官（28 日、1 月 1 日）、湯浅参与（12 月 29、31 日）、菅副総理（30 日）、福島大臣（1 月 2 日）、清水参与（3 日）（出演順）が日替わりでメッセージを発信。スライドにも工夫。

（2）ツィッター
湯浅参与のツィッターを立ち上げ。勝間和代氏との対談が実現（12 月 26 日）

（3）厚生労働省ホームページ
特設巨大バナーを分かり易い位置に掲示。携帯サイト「キャリモバ．ＪＰ」の活用

（4）ハローワークインターネットサービス
特設巨大バナーを分かり易い位置に掲示

（5）東京労働局のホームページ
12 月 24 日から周知

５．ハローワークにおける周知

（１）相談窓口での周知（12 月 22 日～30 日）

・総合受付においてリーフレットを配付（キャリモバのＱＲコード入り）

・安定就職コーナーでは来談者の全員に配付

（２）ハローワーク登録者の掘り起こし（12 月 22・25 日）

・都内のハローワークの有効求職者のうち住居喪失離職者全員（600 人超）に対して電話による周知・勧奨・意向確認を実施。電話が繋がらなかった者、態度不明な者には再度実施

（３）ポスター掲示（12 月 22 日～1 月 3 日）

・庁舎内及び庁舎玄関外側に置いてポスターを掲示（キャリモバのＱＲコード入り）

（４）求人検索端末の衝立へのミニポスター掲示（12 月 22 日～30 日）

（５）求人検索端末のテロップ表示（12 月 22 日～30 日）

（６）ハローワークの館内放送（12 月 22 日～30 日）

６．関連業界への働きかけ

（１）コンビニ（ローソン）でのポスター掲示・チラシ配置

（２）ネットカフェでのチラシ配置（日本複合カフェ協会への協力要請）（12 月 22・28 日）

（３）全国旅館生活衛生同業組合連合会、東京都簡易宿泊業生衛組合、(社)日本サウナ・スパ協会への協力要請（12 月 22 日）

７．その他

（１）日比谷公園入口（５か所）にポスター掲示（12 月 30 日～1 月 3 日）